

幼児教育センターだより 8号

令和4年11月5日発行

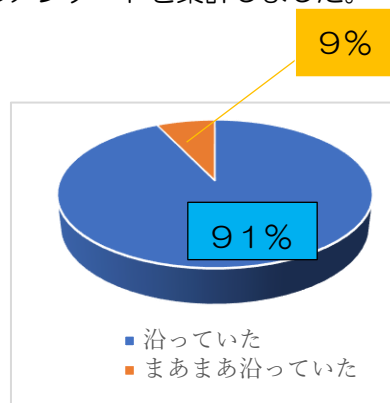


幼児教育施設訪問研修アンケート集計

7月～9月に幼児教育施設訪問研修に伺った園・所からのアンケートを集計しました。

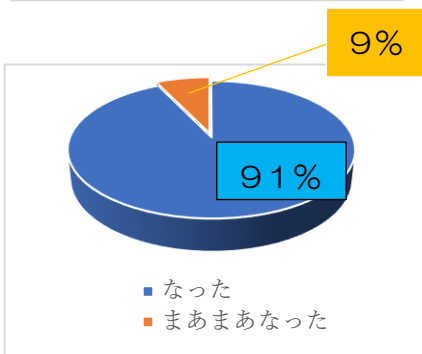
1 園・所のねらいやテーマに沿った研修になっていたか

項目	割合 (%)
沿っていた	91
まあまあ沿っていた	9
あまり沿っていなかった	0
沿ってなかった	0



2 今後の保育の充実につながる研修となったか

項目	割合 (%)
なった	91
まあまあなった	9
あまりならなかった	0
ならなかった	0



3 アンケートの自由記述より

今後取り組みたいこと

- 保育者の思いを優先するのではなく、子どもの行動を待つこと。
- 遊びの中で見られた子どもの育ちについて、保護者や小学校、地域への発信。
- 職員間で相談し合ったり意見を伝え合ったりする場や時間の確保。
- 全クラス（未満児も）対象の研修。
- ドキュメンテーションによる園内研修。

訪問研修のよさ

- 0～5歳児のつながりを職員間で共有できた。
- 同じ場面を見て話し合いを深めたり違う見方に気付いたりできた。
- 一人一人の思いを受け止める大切さを再認識できた。
- 子どもも保育者も認めていただき、自信につながった。

6月の結果と大きく変わることなく、訪問研修を受けた園、所の満足度の高さが見られます。訪問研修をきっかけに、さらに向上しようと意欲を高められている様子が見えます。



F 校区 合同研修会

モデル校区の合同研修会が10月にも行われました。

＜内容＞山梨県立大学 阿部美穂子教授の講演

小学校と隣接する保育園の先生が集まり、幼小接続についての講演をじっくり聞きました。今後の取組を進める上で貴重な機会となりました。



地区別幼児教育・小学校教育接続研修

内4地区で、幼児教育・小学校教育接続研修会を開催しました。

講話、R3年度モデル校区の取組紹介、演習を行いました。受講者の声を紹介します。

- ＜内 容＞
- 1 講話「幼児教育と小学校教育の円滑な接続を目指して」
幼児教育スーパーバイザー 新タ 佳子
 - 2 R3 モデル校区の取組紹介と確認シートを使った実態把握
 - 3 演習「幼児期から児童期への発達や学びの連続性について考えよう」



高岡地区



新川地区



富山地区



砺波地区

保育者



1年生の授業風景を見て、入学後のイメージをもてました。また、小学校で行っている配慮等について聞くことができ、とてもよい機会となりました。

小学校教員



「幼児期の終わりまでに育ててほしい姿」を手がかりにすると、新しい視点で子供の育ちをとらえることができると分かりました。